

## 平成23年度事業計画

ここ数年の景気低迷の影響は、当センターにおいても大幅な事業実績の減少や会員の就業率の低下という形で現れ、事業運営に大きな打撃を受けております。市内のイベントや街頭での普及啓発活動や会員の口コミによるPR活動、そして役職員による就業機会拡大に向けた民間事業所への訪問活動などを進めているところですが、未だ好転には至っておりません。また、国の事業仕分けによる運営費補助金の削減や違法な派遣や請負などに当てはまらないような適正な就業を行うため、受注や契約内容の見直しを進めている中での会員就業機会の縮小などのケースも見られ事業運営は予想以上に大変厳しい状況であります。

このような状況下でも新規の受注はわずかではありますが増加しており、緩やかでも回復させていくことを目標に、会員・役員・職員が知恵を出し合い協力して現状を乗り越えることが大切であります。

いま、地域社会が求めていることは何かを的確に把握し、シルバー人材センターとして出来ることは何かを適切に判断して積極的に事業を進めることが重要です。

### 事業計画

#### 1. 会員・就業機会の確保

- (1) 関係団体の行事へ積極的に参加し、パンフレットやチラシの配布を行い、センター事業に対する認知度の強化を図ります。また、公共機関・福祉団体・自治会などの協力を得て、会議や会合でのPR活動を行います。
- (2) 入会説明会を月に1～2回実施し、また、市の広報紙を利用したPRを行うとともに、ホームページの掲載内容を充実させ情報力を強化し、センター事業の趣旨に賛同し、健康で働く意欲と能力、知識・経験を有する会員の確保と拡充を図ります。
- (3) 就業の継続や新規就業の掘り起こしによる就業機会の拡大に向け、役員を中心として民間事業所への訪問活動を行うとともに、市川市に対し、高齢者の就業は福祉政策や労働政策に繋がるとの理解を求め、就業機会の確保や補助金の増額、事務費率の引き上げ等を含めた支援と協力をお願いします。
- (4) 女性会員の就業については、社会的に増加傾向にある家事援助事業や介護制度の周辺サービス等の拡大に努め、それらに対応できるよう女性会員の入会促進を図ります。
- (5) 就業や地域活動の機会を通じて、会員による口コミ活動を積極的に進め、センターの周知と理解を図ります。
- (6) センター発行の会報紙の内容を充実させ、様々な方面に配布し普及啓発活動を進めます。

## 2. 会員活動の充実

- (1) 会員の自主的・主体的な活動を充実させるため、すべての会員が積極的に地域班活動に参加するよう、地域班の設置目的及び役割等について周知するとともに、具体的な活動内容を提示し理事会及び事務局との連携を図ります。
- (2) 会員のマナーやモラルの向上を目指し、技術や技能のさらなる習得により就業時のトラブル回避を図るため、接遇研修会や講習会を実施し接客態度や仕事の質の向上に努めます。
- (3) ボランティア活動を通じて会員相互の交流を深めると同時に、地域に対する社会貢献を促します。

## 3. 安全就業対策

- (1) 総会や会報紙などを通じて、安全就業に係る意識の向上を図るとともに、安全委員による就業先への巡視を実施するほか、事故の未然防止に向けた対策を検討し実施します。
- (2) 健康診断の受診を奨励し、加齢による体力や判断力の低下を意識しながら良好な状態で就業できるよう自身の健康管理を促します。

## 4. 適正な就業

- (1) ローテーションを組みワークシェアリング（仕事の分かち合い）を推進し公平な就業機会の提供と就業率の向上を引き続き目指します。
- (2) 定期的に就業内容を確認し、請負・委任になじまない就業については発注者へ理解を求め、契約内容の見直しを行い法令に遵守した就業を図ります。

## 5. 事業推進体制の強化

- (1) 国の補助金の削減や不況による事業実績収入の減少により財源の確保が厳しくなるため、事務経費の節減に努めると同時に、事務費収入及び年会費などの自主財源の確保にむけて関係者への働きかけを行い、運営基盤の強化を目指します。
- (2) 全シ協、県シ連等関係団体主催の研修会に参加し、積極的に情報収集を行い、センターの円滑な事業運営の強化を図ります。
- (3) 公益法人制度改革移行については、新法人としての組織体制の強化や意識の向上を図るなど、円滑な移行準備に万全を期します。